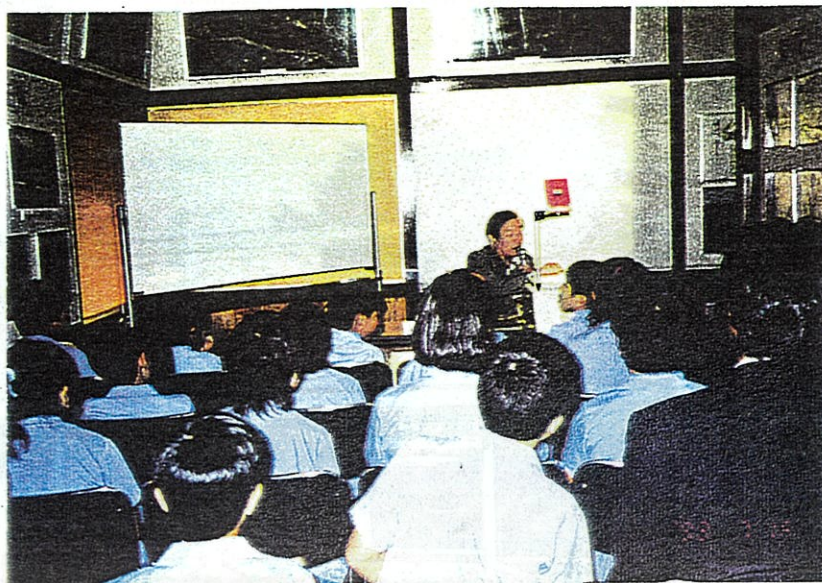


テープカットの後に行われた講話「川の役割」では、荒川の歴史や水防林の役割など、半澤光夫・荒川協議会副会長の話に小学生達も熱心に耳を傾けていました



荒川資料室の展示については、今後さまざまな企画を検討し、多くの皆様楽しんでいただけるような内容にしていきたいと考えています。f a nでは、来年度の展示替えに向けて、荒川資料室で行う企画展示の内容やそのための調査・資料収集などについて検討を進めていく予定です。

皆様のご意見、アイデア等を広くうかがいながら、皆様とともに荒川資料室を魅力ある場所にしていきたいと考えております。

今後も多くの皆様に荒川資料室をご覧いただき、ご意見を頂戴したいと思います。

「水シンポジウム」開催される

去る7月14日、郡山市民文化センターにおいて、「第3回水シンポジウムinふくしま」が開催されました。「水シンポジウム」は土木学会と建設省が主催団体となり、様々な角度から水環境について考える全国的な会合です。今回は『ともに考え、ともにつくり、ともに育てる21世紀の川』が共通テーマとなり、全国各地の事例が報告されました。

f a nからは阿部周次郎会長と星一彰氏が分科会において報告しました。阿部会長は、『荒川に感謝し、人に優しい川づくりを目指して』と題して、荒川整備計画検討委員会の結成から荒川協議会が結成されるまでを報告し、地域住民が一体となって川づくりを進めることの重要性を訴えました。また、星氏は福島県自然保護協会会長として『水の汚れ、生物は知っている』と題し、阿武隈川の生物学的水質調査の結果を報告しました。両報告とも参加者の大きな注目を集め、活発な討議が行われました。

これを通して、今後検討していかなければならない課題として「川づくりはまちづくりにつながる。それを支えるのは人づくりである。」「水環境は化学的な検討だけではなく、生物の営みの視点からも見ていかなければならない。」「住民と行政のパートナーシップをどのように形成していくかが課題である。」などの点が指摘されました。

「水シンポジウム」は大きな成果をあげて終了しましたが、「川づくり」には終わりはありません。

f a nでは、今後も「川づくり」「まちづくり」に関する様々な活動と連携をとりながら、よりよい荒川をつくるために積極的に活動していきたいと考えています。

「荒川沿川を歩く会」のお知らせ

f a nのオリジナル企画第2段として、「荒川沿川を歩く会」を開催します。「歩く会」ではf a n副会長の半澤光夫氏を講師に迎え、荒川資料室周辺の歴史探ります。ふるってご参加下さい。

日 程 : 9月26日(土) 午前9時40分より午後2時頃まで

ル ー ト : 9:40荒川資料室集合→10:00出発～明治40年の治水記念碑～
水林自然林と荒井用水路～江戸時代築堤の霞堤～大正4年築堤の水天宮～
床固め流路工～小富士橋～荒川左岸堤防～川石田の田圃～
井の内庭園「菊心庵」～佐原義民堂
< 昼 食 >
義民太郎右衛門堰～荒川発電所の水圧鉄管～荒川発電所～
地蔵原堰堤親水改良工事地点～県畜産試験場～
地蔵原開拓記念碑・道しるべ・石地蔵由来・その他～
14:00頃地蔵原バス停にて解散

申し込み : 参加費無料、どなたでも参加できます。
参加を希望される方は

福島市役所建設部河川課(電話024-535-1111内線4152)

までご連絡下さい。申し込み締め切りは9月18日(金)です。

ご 注 意 : ・当日は2～3kmほど歩きます。
一部道の悪いところもありますので、歩きやすい靴をご用意下さい。
・昼食は各自ご用意下さい。
・小雨の場合は決行します。
雨天時には荒川資料室まで実施の有無をお問い合わせ下さい。
電話番号: 024-593-3525(荒川資料室)